

令和は古典を楽しもう

文楽レクチャー編

古典芸能を“偏愛”する二人のトーク&レクチャー

おしゃべり 古典 サロン vol.4

2020年 **1月12日** [日]
14:00~16:00 ※13:30より受付開始

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター

フレンテみえ 多目的ホール

料金: 1,000円 (3月21日文楽公演のチケット提示で無料)

※当日受付にてお支払いください。

定員: 200名 ※定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。(先着順・事前申込制)

講師: 木ノ下裕一 (木ノ下歌舞伎主宰) 田中綾乃 (三重大学人文学部准教授)

11月1日(金)より申込受付開始

問合せ: 三重県文化会館チケットカウンター TEL059-233-1122

※10:00~19:00/月曜休館(祝日の場合翌平日)

主催: 三重県文化会館 共催: 三重県生涯学習センター

本公演のご案内 一般発売: 12月8日(日) / シアターメイツ優先予約: 12月5日(木)~

人形浄瑠璃 文楽

解説・字幕付きで初心者でもお楽しみいただけます。

【昼の部/13:30開演】生写朝顔話 一明石船別れの段/笑い葉の段/宿屋の段/大井川の段

【夜の部/18:00開演】ひらかな盛衰記 一松右衛門内の段/逆櫓の段 日高川入相花王 一渡し場の段

日時: 令和2年3月21日[土] 会場: 三重県文化会館 中ホール

入場料: 昼夜各 S席3,500円 A席2,500円 昼夜通し券 S席6,000円 A席4,000円

※昼夜通し券は三重県文化会館チケットカウンターでのみの販売になります。

問合せ先: 三重県文化会館チケットカウンター TEL059-233-1122(10:00~19:00 月曜休館 ※月曜祝日の場合は翌平日)



写真: 青木信二



写真: 青木信二

生写朝顔話・ひらかな盛衰記

しょううつしあさがおぼなし

ひらがなせいすいき

今回の「おしゃべり古典サロン」では、2020年3月21日に中ホールで開催の人形浄瑠璃文楽で上演される演目を取り上げます。

昼の部の『生写朝顔話』は、御家騒動を背景にして、若い娘・深雪と青年・阿曾次郎とのすれ違いの恋が描かれます。文楽人形が琴を弾いたり、器用にお茶を点てる場面も見どころです。夜の部の『ひらかな盛衰記』は、源平合戦を背景にして、主従や親子の關係が味わい深く描かれます。「逆櫓の段」の太夫と三味線のかけ声「やっしっし」は、文楽ならではの聴きどころです。

今回、両作品とも「時代物」と呼ばれるジャンルの物語です。物語の涙み尽くしえない魅力に迫りたいと思います。